

東日本大震災  
連合救援ニュース

被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。

発行 連合災害対策救援本部

電話 03-5295-0539 FAX 03-5295-0547 [soshiki@sv.rengo-net.or.jp](mailto:soshiki@sv.rengo-net.or.jp)  
日本労働組合総連合会(連合) <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

## 1. 日本経団連に雇用・労働問題について要請

連合は4月5日、日本経団連に対し、「東日本大震災に関する雇用・労働問題等についての要請」を行いました。連合からは南雲事務局長、團野副事務局長、新谷総合労働局長が要請し、日本経団連側は川本常務理事、高橋本部長、新田主幹が対応しました。

まず、南雲事務局長が要請文にもとづき趣旨を説明しました。これに対して、日本経団連の川本常務理事は「要請の趣旨は米倉会長にしっかりと伝える」述べるとともに、「経団連としても緊急アピールを出すとともに、3月31日には『震災復興に向けた緊急提言』をまとめ、雇用の維持確保についての取り組みもしている。また、2012年入社対象者の採用についても柔軟な対応をするよう求めている」と、この間の取り組みについて説明しました。

連合の團野副事務局長は、「今回は要請という形であるが、一緒にできることはやっていきたい。今後様々な対応や相談をさせていただくが、よろしくお願ひしたい」と述べました。

加えて、川本常務理事より「夏場に向けた節電対応について、組合に協力してもらわなければならない事項など、個別労使で相談することになると思うが、よろしくお願ひしたい」と発言があり、これを受けて南雲事務局長は「この間、地球温暖化に関して両団体で議論する場を設置したが、節電等に関しても、同様に委員会なり会議体を設置して議論させていただきたい」と締めくくりました。

連合は、解雇、雇い止め、内定取り消しなど雇用・労働問題が深刻化する中、3月25日に厚生労働省に対し主に制度面に関する対応を要請しました。加えて今回、雇用主体である経済4団体に対しても要請することとしました。経済同友会・日本商工会議所・全国中小企業団体中央会に対しては4月8日に同じ内容を要請する予定です。

### <要請のポイント>

- 雇用維持への最大限の努力
- 新規学卒者等への対応
- ボランティア休暇の取得、電力消費のピーク抑制・平準化対策、風評被害の防止等

要請書全文は連合ホームページに掲載しています。

<http://www.jtuc-rengo.or.jp/news/rengonews/index2011.html>

## 2. 古賀会長 福島・宮城 激励訪問（続報）

古賀連合会長は4月2日、3日にわたり、被災県である福島、宮城を緊急訪問し、連合救援ボランティアが活動するベースキャンプや現場を激励訪問すると同時に、各県知事とも会談し、風評被害対策への協力や復興のための法整備などについて意見を交換しました。

古賀会長は、4月2日の午前中、連合福島の影山会長と会談、福島ベースキャンプを視察するとともに、UIゼンセン同盟福島県支部の鈴木支部長と会談した後、福島県庁において佐藤知事と会談、午後からは相馬市の松川湾付近で作業中の連合ボランティア派遣団を激励、相馬ボランティアセンターも訪問しました。その後、がれきが続く荒涼たる風景に一変した北部海岸地帯を視察しました。夕刻には、仙台に移動し、連合宮城山崎会長と会談し、宮城ベースキャンプで連合ボランティア派遣団と意見交換しました。

4月3日は、宮城県庁において若生副知事と会談、その後、村井知事を激励しました。さらに石巻市ボランティアセンターを激励訪問、ご家族が被災され避難所生活を続けられている安住淳衆議院議員（民主党国対委員長）とも会談しました。その後、連合石巻地協事務所、石巻において作業中の連合ボランティア派遣団、さらに気仙沼市ボランティアセンター、一関ベースキャンプを激励訪問しました。



連合福島の影山会長（左）と会談する古賀会長（右）



石巻ボランティアセンター付近で（左より古賀会長、安住衆院議員、連合宮城・山崎会長、山井衆院議員）

## 3. 「わだつみ」よりカンパ金

連合本部が入る総評会館の向かいにある和食屋「神田 わだつみ」の馬場店長が連合本部を訪れ、お客さんなどから集まった募金を届けていただきました。

会議の際に昼食のお弁当を頼むなど普段からお世話になっているお店です。機会がありましたら是非お寄りください。

<http://r.gnavi.co.jp/p409200/>



左から水谷総合組織局長、南雲事務局長、「わだつみ」馬場店長と板倉さん

以上